

3年生へ…最後の学期をどう過ごすかが進路を決める！

3学期は、高校生活の締めくくりであると同時に、進路実現に向けた最終ステージです。入試本番が続く人、進学準備・就職準備を進める人など、歩む道はそれぞれですが、共通して言えるのは「ここからの行動で結果はまだ変わる」ということです。

○大学受験生へ：入試本番の心と体の整え方

入試が近づくと、普段通りの力が出せなくなることがあります。だからこそ以下を意識してください。

- ・生活をルーティン化する：毎日同じ時間に起き、同じリズムで学習する。
- ・会場までの動線確認：交通手段・予備ルートを事前に調べ、当日は余裕を持って行動。
- ・メンタルケアも戦略の一つ：緊張は準備してきた証。深呼吸で意識を切り替える。

○進学決定者へ：入学前の準備が4月からの差になる

すでに進路が決まった人は、「入学前の準備期間」をどう過ごすかで大学生活が大きく変わります。

- ・これまでの学びの復習（英語・数学の基礎など）
- ・入学予定学部の基礎知識の習得
- ・大学生活に必要な生活力（家事スキル・金銭管理など）の習慣づけ
- ・提出物や必要書類の準備

○就職内定者へ：社会人基礎力を固める3学期

就職が決まった皆さんには、「社会人としての準備期間」が始まっています。

- ・礼儀・挨拶・言葉遣い
- ・出勤時間の逆算での生活リズムづくり
- ・文書作成・電話応対などの基礎練習
- ・与えられた課題や研修内容の確認

◎残りの日々を大切に

卒業までの時間は、もうわずかです。高校生活での学びや経験、人とのつながりは、今後の人生を支える大きな財産になります。応援してくれた人への感謝、クラスメイトとの思い出づくり、最後まで努力する姿勢。それらすべてが、皆さんの未来を強くしてくれます。進路実現はゴールではなくスタートです。どんな進路を選んでも、皆さんが自分の未来に自信を持って踏み出して欲しいと願っています。

2年生,1年生へ…進路決定に向けて準備を始めよう！

3学期は、今年度のまとめであると同時に、次の学年へ向けての“スタートの学期”でもあります。特に進路選択が本格化してくる皆さんにとって、今の行動が1年後・2年後の進路に直接つながっていきます。

○1年間の振り返りをしよう

進路を考える上で、自分自身を知ることがとても大切です。この1年間を振り返り、次の観点で自分を見つめ直してみましょう。

- ・学習面：得意科目・苦手科目は？どこでつまづいたか？
- ・生活面：時間の使い方はどうだった？改善すべき点は？
- ・活動面：部活動・学校行事・委員会などで頑張れたことは？
- ・興味・関心：心が動いた出来事や授業はあった？

これらをまとめることで、将来の方向性が少し見えてくるはずです。

○学力の土台をつくる最後のチャンス

3学期は短いですが、学力を確実に積み上げる大切な時期です。特に次の年次で入試レベルの内容に入る年次（新2年生・新3年生）は、この3学期の学習が大きな差になります。

- ・毎日の授業を大切にする
- ・基礎の復習で「分かったつもり」をなくす
- ・模試のやり直しを丁寧に行う

積み重ねが自信を作ります。自分の努力は必ず未来の力になります。

○自分の将来に向けて一歩踏み出す3学期に

進路選択は「自分の人生を自分で選ぶ」大切な機会です。不安に思うのは当然ですが、早く行動した分だけ心の余裕も生まれます。迷ったら、ぜひ担任やキャリアデザイン部の先生に相談してください。何かヒントが見つかるはずです！

東京家政大学と本校は高大連携協定を結びました

2025年12月12日（金）に東京家政大学と東京都立王子総合高等学校は、高大連携に関する協定を締結しました。東京家政大学は今年、創立145周年を迎える伝統ある女子大学です。2026年4月から文化情報学環や社会デザイン学環も設置され、板橋と狭山の両キャンパスでは、多岐に渡る分野の専門性を高められます。本校から板橋キャンパスは自転車で行くことが可能な近さで、これまで本校の卒業生も多く進学しています。今後、さまざまな高大連携を図っていきます。

そこで今回はまず、大学の図書館利用についてのご案内です。大学内は、女子学生のみ入ることが可能ですが、大学の豊富な資料を使わせていただくことが可能になっています。少しでも興味・関心のある方は、キャリアデザイン部までお越しください。

↓写真は、東京家政大学三浦正江副学長先生と
本校校長先生の協定調印式の際の写真です。

